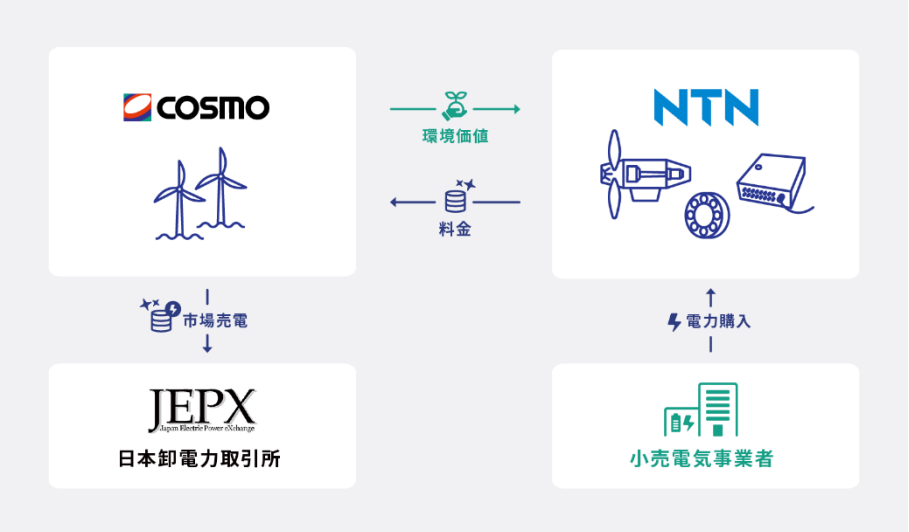
2025 年 5 月 12 日
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモエコパワー株式会社
ＮＴＮ株式会社

ＮＴＮで初となるバーチャル PPA を締結
～コスモエコパワーの中紀ウィンドファーム（風力発電）を活用～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモエコパワー株式会社（代表取締役社長：野倉 史章、以下「コスモエコパワー」）と、ＮＴＮ株式会社（執行役社長：鵜飼 英一、以下「ＮＴＮ」）は、2025 年 5 月 7 日付で、ＮＴＮとして初となるバーチャル PPA（発電量に応じた環境価値のみを直接購入する契約、以下「本 PPA」）を締結したことをお知らせします。

コーポレート PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）は、需要家が発電事業者から直接再生可能エネルギーを購入する契約形態です。このうちバーチャル PPA とは、需要家が自らの敷地外に設置された再生可能エネルギー発電所から、物理的な電力ではなく、その環境価値のみを調達する契約形態です※。

本 PPA の対象はコスモエコパワーが運営する中紀ウィンドファームであり、2021 年 4 月に商業運転を開始し、ＮＴＮも事業を展開する関西エリアへ電力を供給しています。稼働する風力発電機には、ＮＴＮのベアリング（軸受）のほか、運転状況の監視や予防点検などへの活用を目的とした状態監視システム（CMS：Condition Monitoring System）「Wind Doctor®」が採用されています。コスモエコパワーにとっても、発電機の部品供給元と PPA を結ぶのは初めてのケースとなります。



【本件のバーチャル PPA のイメージ】

本 PPA によりＮＴＮは、中紀ウィンドファームで生み出される年間約 1,000 万 kWh 相当の環境価値（非化石証書）を今後 16 年間にわたって受け取ります。これにより年間約 4,200t（約 1,700 世帯分）の CO2 排出量を削減できる見込みです。

コスモエコパワーとＮＴＮは、ともに長年にわたり日本の風力発電を支えてきたパートナーとして、今後もカーボンニュートラル社会の実現に向け、互いの取り組みを加速してまいります。

中紀ウィンドファーム

【発電所概要】

名称	中紀ウィンドファーム
所在地	和歌山県広川町、日高川町、有田川町にかかる白馬山脈尾根部
設備能力	48,300kW（2,100kW×23 基）

※　従来 FIP（Feed-in Premium：フィードインプレミアム）制度における PPA は、2022 年以降に運転を開始した発電所に限定して需要家との直接取引が認められていましたが、2025 年 4 月の制度変更により運転開始時期の制限が撤廃され、2021 年 4 月に運転を開始している中紀ウィンドファームを利用した PPA 締結が可能となりました。

以上